近現代詩（汲む）＊＊

次の詩を読んで、後の問いに答えなさい。［５０点］

大人になるというのは
[A]すれっからしになることだと
思い込んでいた少女の頃
[B]立居振舞の美しい
発音の正確な
素敵な女のひとと会いました
そのひとは私[C]の背のびを見すかしたように
なにげない話に言いました

初々しさが大切なの
人に対しても世の中に対しても
人を人とも思わなくなったとき
堕落が始るのね　堕ちてゆくのを
隠そうとしても　隠せなくなった人を何人も見ました

私はどきんとし
そして深く悟りました

大人になってもどきまぎしたっていいんだな
ぎこちない挨拶　醜く赤くなる
失語症　なめらかでないしぐさ
子供の悪態にさえ傷ついてしまう
頼りない生牡蠣のような感受性
それらを鍛える必要は少しもなかったのだな
[D]年老いても咲きたての薔薇　柔らかく
外にむかってひらかれるのこそ難しい
あらゆる仕事
すべてのいい仕事の核には
[E]震える弱いアンテナが隠されている　きっと……
わたくしもかつてのあの人と同じくらいの年になりました
たちかえり
今もときどき[F]その意味を
ひっそり汲むことがあるのです

問一　傍線部**A**「すれっからしになること」とは、どういうことか。詩の中の言葉を用いて十五字以内で答えなさい。

問二　傍線部**B**「立居振舞の美しい／発音の正確な／素敵な女のひと」とは、どのような人物か。最も適切なものを次の**ア**～**オ**の中から選び、記号で答えなさい。

ア　気品にあふれた人
イ　愛と優しさに満ちた人
ウ　繊細で几帳面な人
エ　豪放磊落な人
オ　智恵と勇気とを兼ね備えた人

問三　傍線部**C**「私の背のび」とは、どういうことか。詩の中の言葉を用いて十五字以内で答えなさい。

問四　傍線部**D**「年老いても咲きたての薔薇」とは、どういうことか。詩の中の語句を用いて、三十字以内で答えなさい。

問五　傍線部**E**「震える弱いアンテナ」とは、何の比喩か。詩の中の語句も用いて二十五字以内で答えなさい。

問六　傍線部**F**「その意味を／ひっそり汲む」とは、どういうことか。三十字以内で答えなさい。

学　年	組	番　号	氏　名	得　点

問　一	問　二	問　三	問　四	問　五	問　六

近現代詩（汲む）＊＊

〔出題の意図と留意点〕　この詩は、世間の価値観に対するアンチテーゼである。この詩には自己に対する厳しい反省の態度も示されており、読み手もまた自己の現実を見つめ直すことを求められる。問六、「ひっそり汲む」というところに、ひとり静かに自分の胸に手を当てて考える姿が感じられる。

☆解答例と配点

問一　人や世の中にどぎまぎしないこと（十五字）（人を人とも思わなくなること（十三字））　〈9点〉

問二　ア　〈5点〉

問三　早く大人になろうとしていること（十五字）　〈9点〉

問四　年老いても周囲に対する感じやすい心を失わないということ（二十七字）　〈9点〉

問五　外にむかってひらかれた、傷つきやすい感受性（二十一字）　〈9点〉

問六　初々しさの大切さについて考え、わが身を反省すること（二十五字）　〈9点〉

計50点